

第28回(2023年度)定期総会を開催!!

当協会の定期総会が6月25日14時から町上会館で行われました。来賓として若生富谷市長、青柳市議会議員も出席し、励ましのご挨拶をいただきました。



全国各地で情報産業用の刃物等、事業展開している状況や多くの優秀な中国人が活躍している様子や杭州の観光など楽しい内容となりました。記念撮影の後、議案審議を行い承認されました。また留学生4人を中心にお茶会も楽しい会話が弾みました。

冒頭、中山耕一会長は「日中平和友好条約締結45周年を迎え、経済、文化でも更なるつながりの深化を民間交流で深めていきたい」とあいさつ。また「杭州東洋刃物とフェローテック中国の事業展開を通しての友好の深化について」と題して東洋刃物株式会社の大石純一郎社長が講演。中



杭州東洋精密刃物の日本人と中国人の混成チーム

TNC
通信

2023
7月号

東北スピーチコンテスト募集!

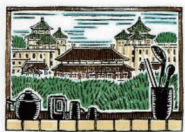
10月28日実施の「全日本中国語スピーチコンテスト」東北大会の出場者を募集しています。参加要項は県協会ホームページへ!

『台所から北京が見える—36歳から始めた私の中国語』(長澤信子著 ちくま文庫 924円)

子育てが一段落した著者はライフワークとなる何かを身につけたいと選んだのが中国語でした。家にはテープレコーダー6台用意し繰り返し聞く。また暗記カード1万枚用意する。36歳で学び初め40歳でガイド通訳の資格を取ります。さらに驚いたのは看護学校に入学し、准看護師の資格を取ります。理由は中国語を更に学び、中国への旅もしたいとなればお金もかかる。自分の趣味なので、主人の収入をあてにせず、自ら収入を得ようという事です。

中国語の実力が増すにつれ、交流が増します。今では日中の懸け橋となって活躍されています。まさに著者にとってのライフワークとなったのです。ぼんやり中国語を学んでいる自分にとって衝撃の一冊でした。

(高橋美)



台所から北京が見える
36歳から始めた私の中国語

長澤信子

語学はいつ始めても遅くない

36歳で中国語を始め、40歳で通訳・学習者のやる気は大をつける名著。著者 高橋美

7月9日、留学生招き「BB交流会」!

4年ぶりに「ブルーベリー狩り交流会」を企画しました。また富谷宿の散策も行います。留学生との交流を楽しみませんか。会員は入園料を会で負担します。

<時間帯・行程> 9日(日)

10:30 高橋農園(赤石祭田85)集合
12:30 とみプラ(民俗資料館、富谷宿散策)とみやど(ランチ)

14:00 解散

※7月4日迄、横山へ申込

BB狩りのみ、資料館のみ、ランチだけでも可能です。

☆県女性委員会で総会行う☆

6月8日午前、国際センターで第37回総会が行われました。第1部では県協会・佐々木謙会長の「国際交流について②」の講演があり“国際交流の基本的考え”“近隣諸国との平和条約や領土問題”について分かりやすい解説がありました。富谷市日中から4名が出席しました。

§大相撲と中国§

先の夏場所。休場明けの横綱・照ノ富士が優勝を果たした。場所後には大関・霧島(霧馬山)も誕生した。いずれもモンゴル国の出身である。さて中国出身の力士? 現在は不在だ。かつて前頭に蒼国来がいた。中国・内モンゴル自治区出身

老花眼

であり、井上靖の「蒼き狼」が由来だろう。現在は荒汐部屋の親方であり、大関最有力とされた福島出身の若隆景(ケガで休場中)や関脇・若元春の師匠である。今後、中国出身力士が誕生して交流が深まることに期待したい。1973年と2004年に北京と上海で公演しているのだから。